

山梨日新聞

全国の小児病棟で活動するボランティアが交流を深める「全国小児病棟遊びのボランティアネットワーク」(東京都新宿区、坂上和子共同代表)が設立された。坂上さんは「子どもが泣かずに楽しく過ごし、親も助かる環境を整える基盤にしたい」と話している。

と病院をつなぐ「インターネット」を活用し、「子どもの遊ぶ権利を守り、笑顔を届ける福祉の要素を医療現場で確保したい」と考える。山梨県内では山梨大附属病院で遊びボランティアを続ける近藤幸枝さん(甲府市)が交流集会に参加。同病院では山梨大の学生らで

つくる小児ボランティアサークル「サニースマイル」も活躍している。近藤さんは「子どもたちが待っていてくれることが励み。ネットワークを通して、全国のボランティア活動の様子を学びたい」と話している。「交流集会報告書」の申し込みはホームページ

小児病棟ボランティア交流へネットワーク

都内で全国組織立ち上げ

坂上さんによると、全国小児医療施設でのボランティア活動の相互交流はほとんどなく、活動美態を把握することが難しい。個人

シ (<http://www.asobivolnet.com/>) で受け付けている。問い合わせは同ネットワーク事務局(坂上さん)、電話03(6380)3115。



「全国小児病棟遊びのボランティアネットワーク」の交流集会報告書